

令和5年度校報

いっぽんぎ



今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子（知）
- おもいやりのある子（徳）
- たくましい子（体）

号 外

滝沢市立一本木小学校

令和6年 2月 6日

文責 熊谷 明宏

「いっぽんぎ桜」を全児童に配付しました！

2月6日（火）、全校朝会を行いました。ここでは、タイトルにあるように子どもたち一人一人に写真のような木製品をプレゼントしました。

これは、昨年度の学校樹木の調査で腐食等により倒木の恐れがあるということで伐採対象となった「シダレザクラ」を加工したものです。シダレザクラは旧校舎正面の階段の両脇に植えられていたもので、多くの卒業生がシンボルツリーである2本のシダレザクラの間を通過して学校生活を過ごしたものと想像します。

伐採後の木は全て廃棄処分となることを業者の方から聞き、枝を何本かいただいて何かしらの記念品を作ろうと考え、約1年間乾燥保存してい

ました。乾燥した枝を輪切りにすることにして、今年度1年生が生活科の学習でお世話になった滝沢里山研究会事務局長の近藤 修三様に相談したところ、近藤様ご自身が切ってくださいというありがたいお話をいただき、きれいに切っていただきました。その後、切断面をやすりで磨き、校章の焼印を付けました。記念品の名称は「いっぽんぎ桜」としました。

「いっぽんぎ桜」の大きさは様々で、コースターにしたり、キーホルダーにしたり、裏に磁石を付けて木製マグネットにしたりと使い方は各自工夫していただきたいです。ニスを塗ったり木工ボンドを薄く塗ったりして光沢をつけると見栄えはもっとよくなると思います。

腐食が進んでいる枝もあり、きれいな木目が出ない作品もありますが、シンボルツリーからできている記念品として大切にしていだければと思っております。



シダレザクラの花見最終シーズン（R4.4.28 撮影：現6年生）